

<p>前提条件</p>	<p>正統性を担保するメカニズム</p>
<p>法律執行の常時監視</p>	<p>行政に強力な授權(委任立法など)がなされるからこそ、その執行が「一般意志(公共の利益)」から逸脱していないかをリアルタイムでチェックし、事後検証を可能にします。</p>
<p>公文書管理の徹底</p>	<p>「記録のない権力行使」は独裁と同じです。緊急時の判断プロセスを可視化し、将来的な主権者(国民)による検証と責任追及の道を確保します。</p>
<p>参議院の自律開催権</p>	<p>衆議院が解散中や任期満了であっても、立法府が消滅してはなりません。二院制の片翼を常に機能させることで、「行政独裁」を構造的に阻止します。</p>